

平成 2 1 年度
市議会事務局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 1 年度市議会事務局予算要求総括表 1
- 2 平成 2 1 年度市議会事務局経営方針 2
- 3 重点的に取り組みを行う主なもの 3
- 4 事務事業の見直し 4

1 平成21年度市議会事務局予算要求総括表

【一般会計】

平成21年度要求総額 465,224千円
 (平成20年度予算額 469,736千円)
 前年度比 1.0%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成21年度 予算要求額 A	平成20年度 予算額 B	増 減 A - B
政務調査費交付金	278,160	290,700	12,540
議会運営費 (会議出席費用弁償)	29,106	30,114	1,008
市議会広報 (市議会中継)	13,684	9,440	4,244
市議会広報 (市議会だより)	12,301	15,743	3,442
市議会政策立案能力 向上事業	1,167		1,167

2 平成21年度市議会事務局経営方針

北九州市は、地方交付税等の削減によって歳入が減少する一方、公債費や福祉・医療費の増加等に伴う歳出の増大によって、多額の収支不足を抱えている。このため、持続可能な財政の確立と基本構想等の推進を両立させるために、年内に策定する「北九州経営プラン」に基づき、「選択と集中」を推進することとしている。

一方、議会は、これまでも団体意思の決定を行う議事機関としての機能と、執行機関の監視を行う監視機関としての機能を担ってきたが、地方分権時代においては、自治立法権を担う地方議会の議員による条例提案の活発化など積極的な議会運営が求められており、議会の果たすべき役割も大きくなってきている。

本市議会においても、これまで独自に「市民に開かれた市議会」、「市民の負託に応えうる市議会」、「地方分権時代に対応した市議会」を目指した取り組みを行ってきており、限られた財源の中で「選択と集中」を行い、多様化する市民ニーズや進展する地方分権改革に対応する議論を通して、市民が安全で住みやすく、豊かさを実感できるまちづくりを推進していく必要がある。

このような状況の中、市議会事務局は、簡素で効率的な組織のもとに、議会での活発な議論と適正な運営を的確に支援することで、本市議会の活動が、市民から受けた負託に応える成果が得られるよう努めていく。

3 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 円滑かつ効率的な議会運営

議会運営が円滑に行われるよう環境を整備し、事務の効率化を図る。

- ・ 政務調査費交付金 278,160 千円
市議会議員の調査研究に資するための必要な経費の一部として、市議会における各会派に対し政務調査費を交付するもの。
- ・ 議会運営費（会議出席費用弁償） 29,106 千円
議員が議会の会議に出席した際に支給するもの。

(2) 開かれた市議会、より身近な市議会のための情報提供

開かれた市議会を目指し、市議会だよりや市議会中継を引き続き提供し、より多くの市民の、市政の動向、議会活動に対する理解を深め、関心を高める。

- ・ 市議会広報（市議会中継） 13,684 千円
定例会の本会議における市長提案理由説明及び質疑、質問をケーブルテレビで中継し、また、インターネットで配信するもの。
- ・ 市議会広報（市議会だより） 12,301 千円
市議会の審議内容、制度、運営事項その他市議会活動に関する情報を市民に提供するため、「市議会だより」、「声の市議会だより」、「点字市議会だより」を定例会ごとに発行するもの。

(3) 議員活動の活性化

地方分権時代に対応した市議会を目指し、高度な政策立案能力やこれらに伴う知識と十分な心構えを養う。

- ・ 市議会政策立案支援事業 1,167 千円
定期的に弁護士等を招き、議員の政策立案・法制実務等の相談に応じ、議員活動の効果的な支援を図るもの。

4 事務事業の見直し等

(1) 市議会だよりの見直し

市議会だよりをタブロイド版にすることで、紙面を大きくし、文字を拡大させ、紙面をカラー化するなどして、より市民の方が読みやすく親しみやすい紙面を作成するとともに、作成経費を縮減するもの。

(2) 議員定数の削減

市議会議員の定数を削減することで、議員報酬・政務調査費等の経費を縮減するもの。